

寺小だより

令和2年度 3月号 NO.14
富田林市立寺池台小学校
校長 阪上佐智子
☎ 0721-29-1477

初めての式典

3月17日は、寺池台小学校第51回の卒業証書授与式が行われます。今年は84名の6年生が卒業します。人生では大きな節目に行われる「式」が、いくつもあります。春には「卒業式」「入学式」「入社式」、そして「成人式」や「結婚式」「表彰式」等…。そのなかで、初めての「式」として子どもたちの心に深く記憶される式典が、小学校の卒業式だと思います。



子どもたちが将来出会う人生の式典には、どれもまとまった練習期間があるわけではありません。むしろ、いきなり本番で臨むことがほとんどです。そう考えると、小学校での卒業式の練習は、式典における振る舞いや心構えを培う大切な場となります。貴重な時間を費やして行う意義もこのようなところにあるのではないのでしょうか。

3月に入ると、いよいよ卒業式の練習が始まります。当日、子どもたちが堂々と胸を張って、そして落ち着いた心で式典に臨むことができるよう、計画的に練習を進めていきます。そんな6年生の姿を見て、1年生から5年生も、しっかりと今の学年を締めくくり、晴れやかな進級を迎えて欲しいと願っています。

すべての学年の子どもたちが、残り少ない日々を大切に、友達や先生と一緒に過ごせるよう、学校と共にお子さんを支えてくださるようお願いいたします。



◎^{しかく}四角の中は、^{なか}子どもたちも ^よ読みましょう。

^{ねんせい}6年生が、もうすぐ ^{そつぎょう}卒業します。たてわりや、^{しゅうだんとうこう}集団登校、そうじ・・・
いろいろなところで ^{せわ}お世話になりましたね。やさしくして もらいましたね。
^{れい きも}お礼の気持ちを ^{ねんせい}6年生に ^{つた}伝えましょう。そして、^{じぶん}自分も ^{まわり}まわりの人に
^{しんせつ}親切にできるように なりましょう。